

育てる楽しさ、味わう喜び

兵庫みらいの

野菜づくり

Basic Vegetables



果菜類・ナス科

ピーマン

露地栽培

1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月

●種まき ▲仮植え ✕植えつけ
—収穫

営農指導員からの失敗しないコツ

- ・ナス科とは連作しないでください。
- ・根の張りは浅いので高畝にして定期的に走水をしてください。
- ・生育が進むと中央部が込み合うので、間引くと日当たりがよくなります。
- ・アブラムシなどを防ぐためにシルバーマルチをするのも効果的です。

◆VARIETY

大型果ではワンダーベル、ゴールデンベルなど、赤、黄、緑と色の変化が楽しめます。中型果では京みどり、そのほかシシトウや伏見甘長(写真)が便利です。赤くなったら辛みが出てく

るタカノツメなどもあります。



苗の植え替え

前日にじゅうぶん水をやっておく



3号ポット



根鉢を傷めないよう抜き取る



植えつけ後、じゅうぶんに水をやる

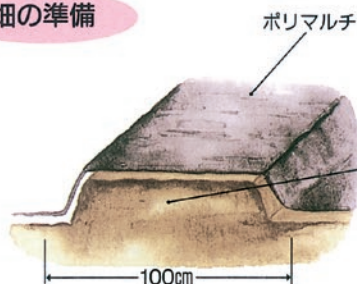


新しい用土を詰める

5号ポット

苗は、育てるのに70～80日かかるので、とくに好みの品種がなければ購入したほうが得策。購入苗が3号ポットの若い苗であれば、5号ポットに鉢替えして、暖かい場所で苗を大きく育ててから植えつけるとよい

畑の準備



荒起こし
セルカ120g/m²
堆肥3kg/m²
元肥
果菜ゴールデン有機
150g/m²
(N・P・K=10・6・10)
マルチサポート1号
40g/m²

植えつけ

5月上旬以降、地温が上がってから植えつける。深植えは避ける。低温と雑草対策として、マルチをして地温を上げておくとい



◆PROFILE

ナス科の野菜で、南アメリカ熱帯地方が原産地です。

高温に強く（生育適温25～30℃）、楽に夏を越します。秋まで収穫できますが、低温に弱いので、春に早植えすると生育が止

まってしまう。

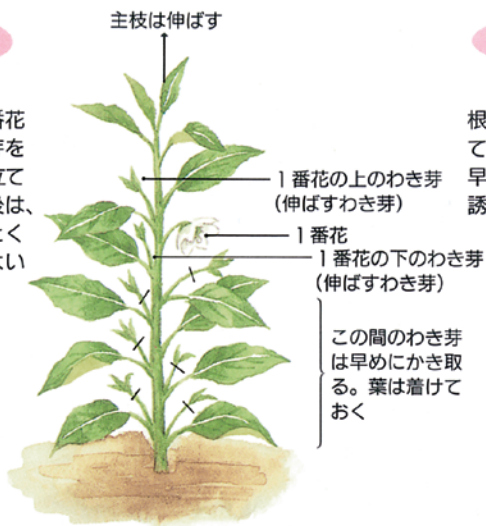
ピーマンとは、トウガラシの一種で、辛トウガラシにたいして、甘トウガラシにつけられた名称です。もともとは欧米系の大型果をいいましたが、最近で

は辛くないものすべてをピーマンと呼んでいるようです。



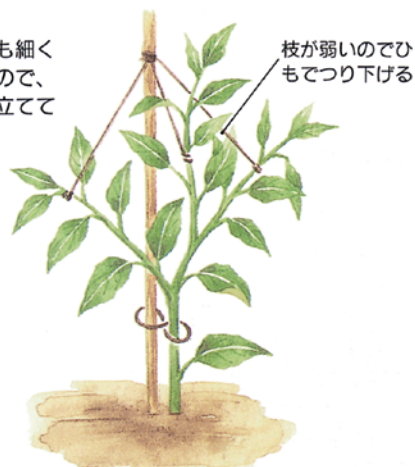
整枝

図のように1番花の上下のわき芽を伸ばし、3本仕立てにする。その後は、枝の手入れはとくにしなくてもよい



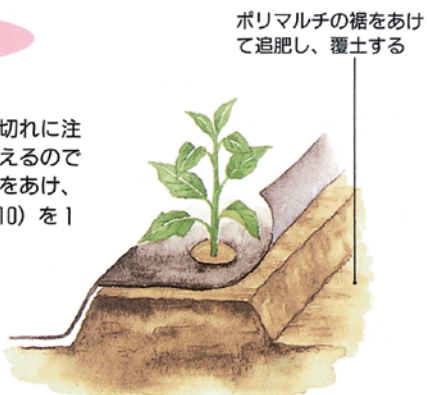
支柱立て

根が浅く、枝も細くて折れやすいので、早めに支柱を立てて誘引する



追肥・水やり

根が細いので、乾燥・肥切れに注意する。追肥は一度に与えるのではなく、20日程度の間隔をあけ、野菜専用化成（15・15・10）を1㎡当たり20gを目安に施す。品種によっては乾燥させると辛くなるので、敷きわらをし、畝の水分保持に注意する



収穫

1番果は早採りする。
2番果以降も30～40g（開花後15～20日）で収穫。枝の勢いが弱っているときは若採りする（大型果は100gくらいで収穫する）



栽培三知識



果実をやや長めに着けて収穫すると果実の乾燥を防ぐのに効果的、という実験結果もあります。

果梗をやや長めに着けて収穫すると果実の乾燥を防ぐのに効果的、という実験結果もあります。

朝、まだピーマンの果実温が上がっていないときに、果梗（果実を支える柄）をやや長めにつけて収穫します。すぐにポリ袋に入れて、冷蔵庫の野菜収納庫の中に入れておきます。果皮が乾いてから冷蔵庫に入れると、品質維持の効果が薄れてしまいます。

朝、まだピーマンの果実温が上がっていないときに、果梗（果実を支える柄）をやや長めにつけて収穫します。すぐにポリ袋に入れて、冷蔵庫の野菜収納庫の中に入れておきます。果皮が乾いてから冷蔵庫に入れると、品質維持の効果が薄れてしまいます。

一度にとれたとき、室内に放っておくと、見た目も、品質も悪くなってしまう。

保存方法は

一度にとれたとき、室内に放っておくと、見た目も、品質も悪くなってしまう。



農業に関するご相談・お問い合わせは、
JA兵庫みらい 営農窓口まで。

TEL.0790-47-1282

8:45～17:15(土・日・祝日を除く)

加西営農生活センター	TEL.0790-47-1286
グリーンかさい	TEL.0790-47-1286
三木営農生活センター	TEL.0794-87-3012
グリーンみき	TEL.0794-83-5638
小野営農生活センター	TEL.0794-63-6905
グリーンおの	TEL.0794-63-7775